



令和元年5月22日(水)

国土交通省関東地方整備局利根川ダム統管理事務所
独立行政法人水資源機構沼田総合管理所(矢木沢ダム、
奈良俣ダム)、下久保ダム管理所、草木ダム管理所

記者発表資料

利根川上流の6つのダムが満水になりました

首都圏の1都5県(東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県)の水源となっている利根川上流8ダムの、奈良俣ダムが5月20日満水となりました。

これまでに、5ダム(矢木沢ダム、藤原ダム、相俣ダム、藪原ダム、草木ダム)が満水となっており、利根川上流の6ダムが満水となりました。

上記の6ダムに、下久保ダム、渡良瀬貯水池を含めた、利根川上流8ダムの5月21日0時時点の合計貯水量は3億9,381万 m^3 (85%)となっています。

利根川上流8ダムでは、今後の水需要増大に向けた用水補給に備え、引き続き関係機関と連携しつつ、きめ細かいダム運用に努めてまいります。今後の降雨状況によっては、貯水量が減少する可能性もあることから、引き続き節水にご理解、ご協力をお願いします。

発表記者クラブ

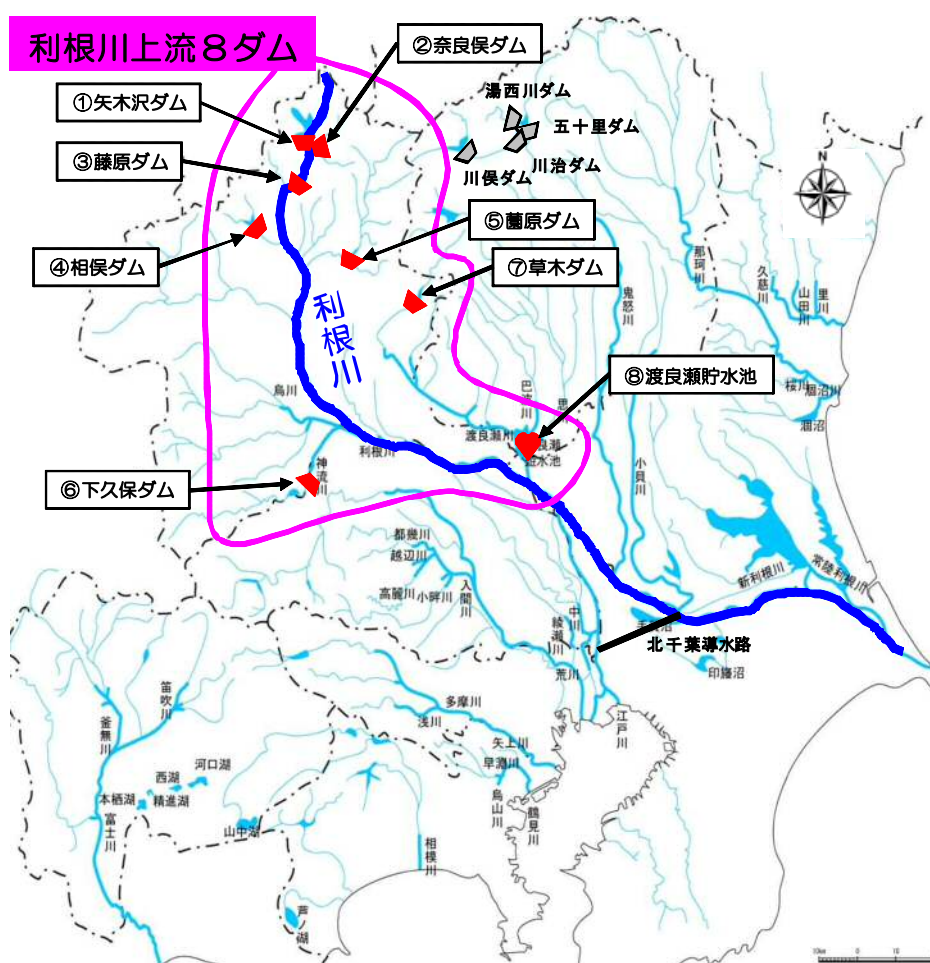
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ
藤岡記者クラブ、桐生記者クラブ、沼田記者クラブ

問い合わせ先

- 国土交通省関東地方整備局 利根川ダム統管理事務所 電話 027-251-2021(代表)
副所長(技術) 飯野 勝博 広域水管理課長 田島 貴光
- 独立行政法人水資源機構 沼田総合管理所 電話 0278-24-5711(代表)
(矢木沢ダム、奈良俣ダム)管理課長 小林 昌運
- 下久保ダム管理所 電話 0274-52-2746(代表)
所長代理 野中 樹夫
- 草木ダム管理所 電話 0277-97-2131(代表)
所長代理 竹内 祐治

利根川上流8ダムの貯水量

ダム名	有効貯水容量	満水到達日	備考
① ^{やぎさわ} 矢木沢ダム	1億1,550万 m ³	5月10日	
② ^{ならまた} 奈良俣ダム	8,500万 m ³	5月20日	
③ ^{ふじわら} 藤原ダム	3,101万 m ³	5月4日	
④ ^{あいまた} 相俣ダム	2,000万 m ³	5月1日	
⑤ ^{そのはら} 藪原ダム	1,322万 m ³	5月7日	
⑥ ^{しもくぼ} 下久保ダム	1億2,000万 m ³	—	
⑦ ^{くさき} 草木ダム	5,050万 m ³	5月11日	
⑧ ^{わたらせちよすいち} 渡良瀬貯水池	2,640万 m ³	—	



利根川上流8ダム位置図

利根川ダム統合管理事務所では、利根川上流ダム群の状況等について情報提供サービスを行っています。ご利用下さい。

○インターネットホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/>

ダム情報、ダム LIVE 情報、降水量・水位 LIVE 情報、雨量・流量・積雪情報

【参考資料:解説】

1. 利根川上流8ダムの貯水状況

平成30年の利根川上流8ダムは、4月25日に貯水量4億3,486万 m³ となりましたが、6月上旬以降降雨が少ない状況が続き河川流量が減少した時に、都市用水や農業用水の需要を確保するため、ダムに貯留した水を補給し、6月30日に貯水量は2億7,603万 m³ まで減少しました。

10月は、台風24号によるまとまった降雨もあり、11月2日に4億3,581万 m³ まで回復しましたが、利根川本川及び支川の水需要、10月、11月の少雨を受け、補給を継続しました。

平成31年に入り1月、2月は、少雨で河川流量が減少したためダムからの補給量が多くなり、ダム貯水量の減少が速くなったため、下流施設(北千葉導水路等)を活用し、ダム貯水量の温存を図りました。

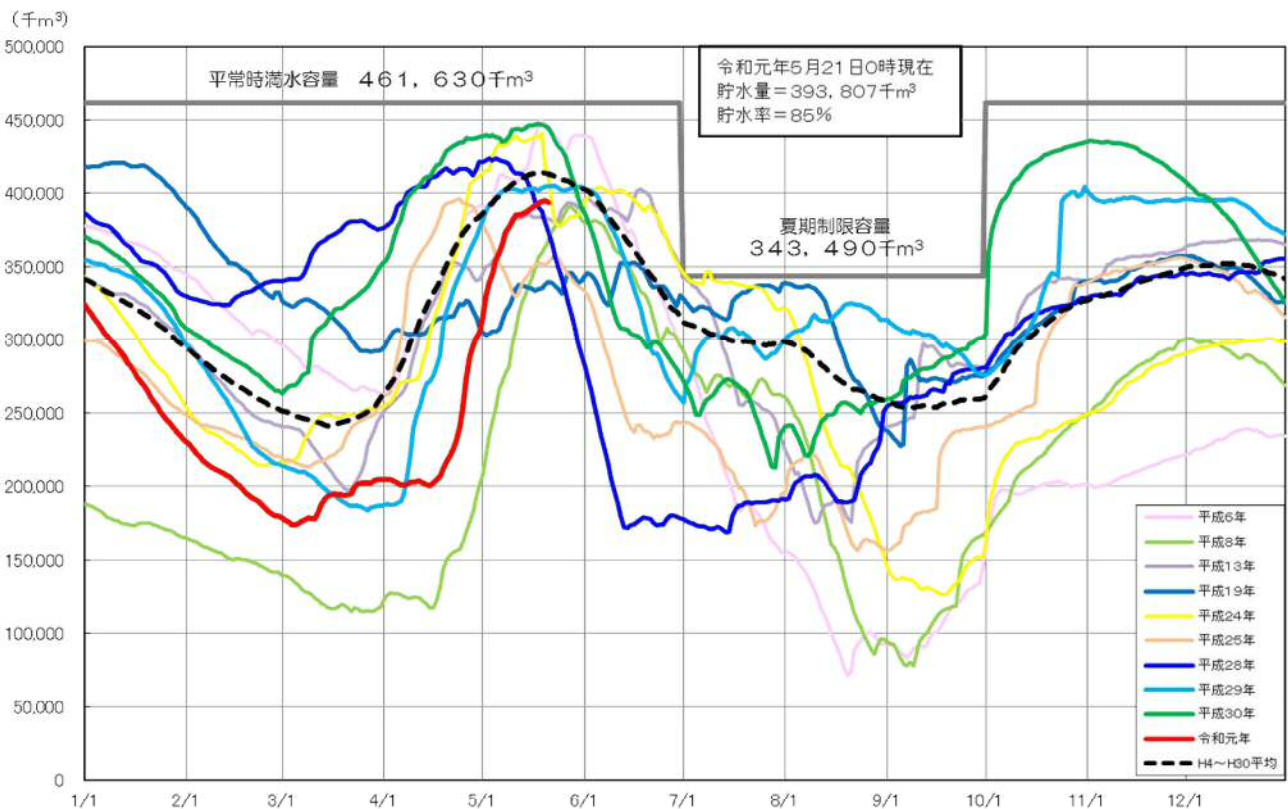
2月に入ると平年を上回る気温でした。3月下旬以降は寒暖を繰り返し4月に入り平年を下回る気温が続く融雪が進みませんでした。下旬から平年を上回る気温が続く、融雪等によりダムへの流入量が増加し、利根川上流8ダムのうち、6ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、菌原ダム、草木ダム)が満水となりました。

今後は水需要が増大していく時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムからの補給量が増加しダム貯水量が減少する可能性があります。

利根川上流8ダムでは、ダムの効果を最大限に発揮するよう、一元的にコントロールする「統合管理」を行っており、引き続き関係機関と連携し、きめ細かいダム運用を行って参ります。

なお、渡良瀬貯水池については、冬期における貯水池干し上げ後の貯水に努めており、現在の貯水量は1,123万 m³(貯水率:43%)まで回復しています。

図-1 利根川上流8ダム貯水量図



2. 利根川上流域の降水状況

平成30年の栗橋上流域における降水量は、9月は秋雨前線や台風の影響により254mm(平均値212mm)と平年を上回りましたが、10月、11月は平均値の4割程度と極端な少雨でした。

平成31年1月、2月は平均値を下回り、特に2月は、17mmで平均値の4割程度の降水量でした。

なお、5月降水量は平年を下回る降水量、33mm(平年比28%)となっています。

図-2 栗橋地点上流域平均降水量(月計)

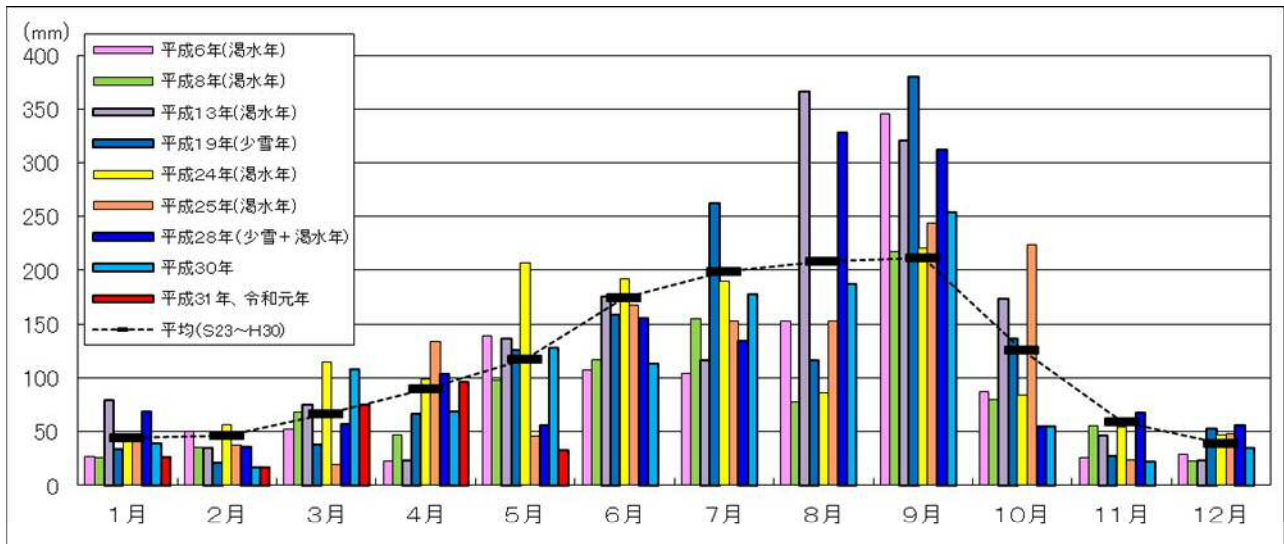


表-1 栗橋地点上流域平均降水量(月計)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平均(S23~H30)	44	47	67	90	117	175	199	208	212	126	59	39	1,383
平成6年(渇水年)	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143
平均比(%)	61	106	78	26	119	61	52	74	163	69	44	74	83
平成8年(渇水年)	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999
平均比(%)	59	74	101	52	84	67	78	38	102	63	93	59	72
平成13年(渇水年)	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569
平均比(%)	180	74	112	26	116	101	58	176	151	137	78	59	113
平成19年(少雪年)	34	21	38	67	126	159	262	116	380	137	27	53	1,420
平均比(%)	77	45	57	74	108	91	132	56	179	109	46	136	103
平成24年(渇水年)	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395
平均比(%)	97	121	171	109	176	110	96	42	104	67	93	121	101
平成25年(渇水年)	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294
平均比(%)	98	81	30	149	39	96	77	74	115	178	40	123	94
平成28年(少雪+渇水年)	69	36	57	104	56	156	134	328	312	55	68	56	1,431
平均比(%)	157	76	85	116	48	89	67	158	147	44	115	144	103
平成30年	39	17	108	69	128	114	178	187	254	56	23	35	1,205
平均比(%)	89	36	161	76	109	65	89	90	120	44	38	89	87
平成31年、令和元年	26	17	75	96	33								247
平均比(%)	59	37	112	107	28	0	0	0	0	0	0	0	18

利根川取水制限実施月(一時緩和含む)
 数値は令和元年5月20日迄の速報値

3. 利根川上流域の積雪状況

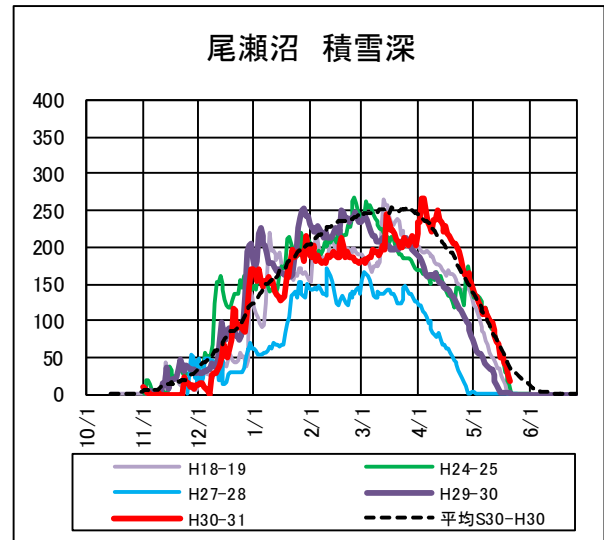
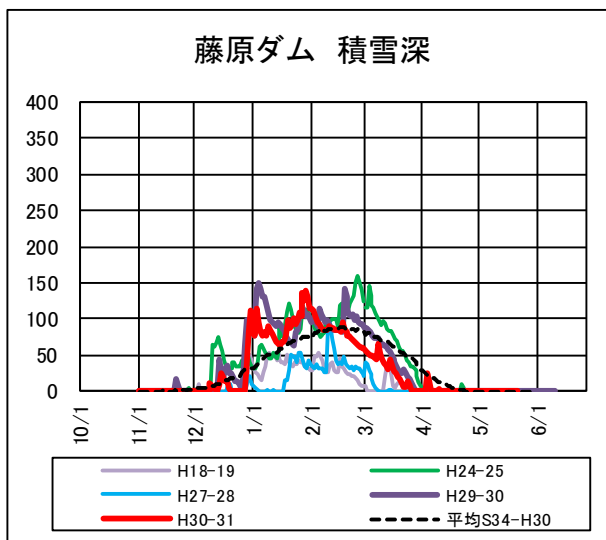
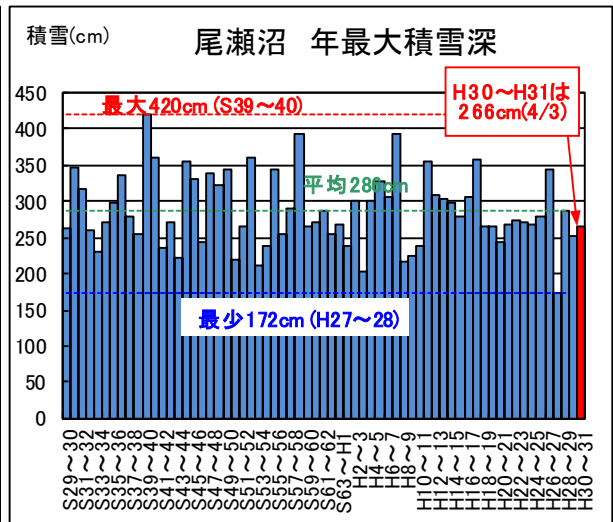
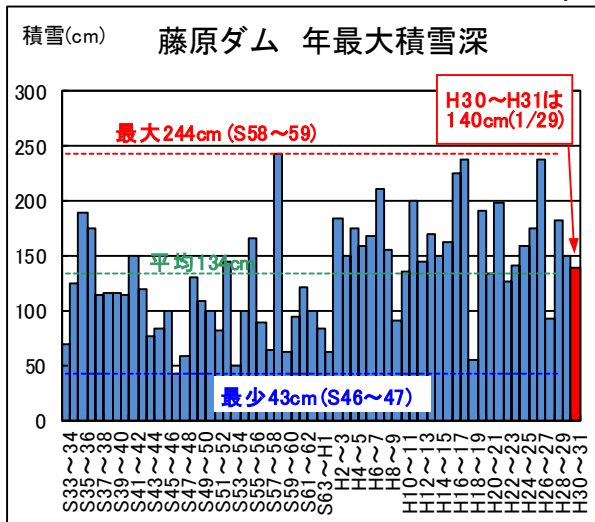
積雪状況

藤原ダム地点は12月9日に初冠雪となり、積雪深は平均値とほぼ同様に推移し、4月12日に消雪しました(H28-H29 期は4月18日に消雪)。また、尾瀬沼地点は、11月1日に初冠雪となり、積雪深は平均値とほぼ同様な推移となっています。

今期の最大積雪深は藤原ダム地点で140cm(1月29日 ※ 昨期は1月4日に150cm)、尾瀬沼地点で266cm(4月3日 ※ 昨期は1月28日に252cm)となっています。

表-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深表

観測所名	時 点	積雪深	今期最大積雪深
藤原ダム (標高667m)	令和元年5月21日9時現在	0 cm	140cm(1月29日)
	S34~H30の5月第5半旬末平均値	0 cm	
尾瀬沼 (標高1666m)	令和元年5月21日9時現在	18 cm	266cm(4月3日)
	S30~H30の5月第5半旬末平均値	21 cm	



4. 利根川上流8ダムの状況写真（撮影日：令和元年5月5日～5月20日）

① 矢木沢ダム(5月10日)



② 奈良俣ダム(5月20日)



③ 藤原ダム(5月5日)



④ 相俣ダム(5月8日)



⑤ 菌原ダム(5月7日)



⑥ 草木ダム(5月12日)



⑦ 下久保ダム(5月20日)



⑧ 渡良瀬貯水池(5月20日)

